



シルバーだより

No. 409
令和7年5月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 箭内忠義
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

—「咲かせましょう 人と人との和の花を」—

学長 加藤 純成

これは、一昨年40周年の時に作った「記念誌」の表紙に載せた言葉です。元々は、シルバー大学の校歌の言葉であり、私たちにとって、とても大事な言葉です。そして、その和の花を咲かせ続けて、今年度は、42年目になります。

2025年、令和7年4月18日、荒川シルバー大学は、42年目の開講・入学式を迎えました。82名の入学生の皆様、ご入学おめでとうございます。

少子・高齢化が叫ばれ、世界中で心配な出来事が毎日、伝えられるこの頃ですが、荒川シルバー大学は、「学びとは、生きる力である」ことの実現をめざし、その大切な場所・機会となるために、昭和59年、荒川の地に誕生しました。

初代理事長は水越清次様、初代学長は秋山照子様でした。私は、木村國子先生の後を引き継いで6代目の学長となりました加藤純成（よしあき）と申します。

シルバー大学は、夢と希望さえあれば、いくつになっても、何時までも学び続けることのできる大学です。また、学生自らがその運営に関わることのできる大学として、41年間成長してまいりました。

今年度の教室数は38教室、講師の先生は42名、学生の人数は、712名を数えます。最高齢の学生は96歳です。私は75歳です。後期高齢者の仲間入りをしました。諸先輩の背中を追い続けてまいります。また講師の中には、20年以上も教室を担当していただいている講師の先生もいます。

新しい発見は、明日への意欲に繋がり、更に豊かな人生に繋がっていきます。入学された皆様は、これから新しい学びを始めます。『先生の話聞きに行こう、友達に会いに行こう、自分の作品をつくろう・・・』と、楽しい学びを続け、充実した毎日を送られますよう、祈念いたします。

荒川区をはじめ、たくさんの方からいただいた、これまでのご支援・ご協力に對しまして、心より御礼を申し上げます。これからも荒川シルバー大学を見守っていただき、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

いよいよ、花咲く春がやってきました。入学生の皆さん、在校生の皆さん、これからも、みんな楽しく学び、和の花を咲かせてまいりましょう。



《《 仲間と一緒に創り上げた学芸会 》》

朗読教室は『花の詩画と書の世界』～星野富弘・相田みつを 二人の渡良瀬川～と題し、午前午後教室合同で発表しました。舞台の上手下手に分かれ、自分の番が来てマイクの前に進み、第一声を発する瞬間は緊張そのもの。会場の皆さんに言葉と声が届くようにと、心を込めて朗読しました。

「詩画」の星野富弘と「書」の相田みつをは、共に故郷を流れる渡良瀬川で遊び、思索し、感性が育まれ、地理的にも風土的にも共通する要素があります。朗読教室では年に一度のバス研修で、二人の記念館も訪れています。

学芸会では二人の生い立ちや生き様を朗読と映像で紹介しました。映像はパソコンが得意な O さん・T さんが担当。朗読に寄り添った『富弘とみつを』にまつわる映像は、とても効果的で華やかな舞台になりました。

ハラハラドキドキの学芸会でしたが、仲間と一緒に創り上げた『花の詩画と書の世界』が会場の皆様に伝わりましたら何よりです。

(朗読教室 小川裕子)



学芸会の様子

それぞれの教室が、
日ごろの成果を発表
しました。



《 交歓会を終えて 》

昨年9月4日の役員会にて、「諸物価高騰の折、会費を5,000円にさせていただきます。」と発しました。すると、皆さんから「高いわよ～もう少し安くない?！」のご意見が多く出ました。私は思わず「それなら実行委員長権限で4,500円にします」と言ってしまいました。すると、今度は実行委員メンバーから「そんな事、委員長が勝手に決めてはダメ!」と喝が入り、そこで私は「そう、そう、その意見を待っていたんです。」とその場を逃げましたが、内心背筋に汗が流れる思いから始まった交歓会準備でした。

その後も、6回に渡る実行委員会では、侃々諤々の中にもありながらも、いつも笑いが絶えない皆さんでしたので、きつとうまくいくと確信をしていました。

本番では、33教室、参加者178名。当初の参加者名簿から43名の変更が発生するという出入りの激しい名簿作りでしたが、これもシルバー大学ならではのことで、『大丈夫、大丈夫なんだ。』と心を落ち着かせました。

雪が舞い散る日の、ぶっつけ本番ではありましたが、進行、音楽、映像、余興、素敵な食事とサービス、どれをとっても素晴らしい完成度でした。

そして、岡田芳子相談役の乾杯挨拶、望月公子顧問のお開きの挨拶では、大変有難いお言葉を頂くことができました。

5年振りの交歓会、楽しんで頂けましたでしょうか。

皆様のお陰で無事会を終える事が出来ましたことを心より御礼申し上げます。

(交歓会実行委員長 星野 弘明)

《 交歓会に参加して 》

コロナ禍があり、令和初開催の交歓会でした。予算がぎりぎりの中でも皆さんが楽しめるようにと、多岐にわたる内容（歌・踊り・ゲームなど）で、講師の先生方の歌は会場が一体化したまさに『人の和』の合唱でした。

様々な教室の皆さんが一堂に会しておいしいお食事とおしゃべりを楽しみ、交流を深められ貴重な時間を過ごせました。実行委員の皆さま、ご参加の皆さま本当にありがとうございました。（広報 久保正子）



訃 報

木村國子元学長が、令和 7 年 4 月 4 日にご病気のため逝去なさいました。
(享年83歳)。平成28年4月からシルバー大学学長に就任し、本学の発展
に多大な貢献をされました。心から哀悼の意を表すとともに謹んでお知
らせ申し上げます。

たんぽぽの命をつなぐ綿毛かな 國子



5 月 の 行 事 予 定

期 日	行 事	講師プロフィール
23 日 (金)	<u>令和 7 年度 第一回合同講義</u> 「文化芸術活動を通じたまちづくり」	荒川区 副区長 谷井千絵
会場：サンパール荒川 3 階 小ホール 時間：午後 2 時より		

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (4 月) ◆◆◆◆◆

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 2 日 常任理事会・役員会 | 22 日 特定教室名簿・出席簿他作成 |
| 15 日 広報委員会 | 26 日 荒川シルバー大学創立記念日 |
| 18 日 開講・入学式 (サンパール荒川大ホール) | 30 日 シルバーだより 409 号作成 |
| 令和 7 年度 在籍者数 (4/18 締) | 30 日 「学校要覧」作成・印刷 |
| 学生在籍総数 712 名 | |
| (内新入生 82 名) | |
| 配付：日程表・一回目の持ち物・たより | |
| 21 日 講師会 | |



※事務局だより※

令和 7 年度は、生涯学習センターの工事も無事終了し、他会場への通学を経験
することとなった教室の皆様も、従来の会場に戻れるようになりました。
一年間、お世話いただきました各施設の皆様、福祉部高齢者課、生涯学習課の皆
様、講師そして役員の皆様の多岐にわたるお心遣いに感謝申し上げます。
風薫る爽やかな季節となりました。お健やかに過ごしましょう。

(事 務 所) TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

事務局長：田原